

勢和小学校だより

発行日：令和7年4月22日

第3号



家庭学習の習慣化のために

先日、「家庭学習の手引き」を配布しました。家庭学習の目的や、学年別の内容や取り組み時間の目安などを明記しています。

低学年は学校が課す宿題に取り組めば、本校が設定している家庭学習の目安時間20分～30分程度の学習はできると思います。

一方で高学年になると、家庭学習の時間を50分～60分に設定しているため、宿題だけでは足りません。かといって、家庭学習で何をどのように取り組めばいいのか、分からない子ども達もいることでしょう。

そこで、取り組ませたいことが自主学習です。文部科学省が発表した全国学力・学習状況調査結果のクロス集計でも、自主学習の習慣がある児童は学力調査の正解率が高い傾向あることが分かっており、また、「宿題はするが、自主学習はしない」場合と、「宿題はしないが、自主学習をする」場合の調査結果でも、自主学習をする児童の方が学力調査の正解率が高くなっているようで、自主学習の重要性が分かります。

では、具体的にはどんなことをしていけばいいのか。以下にいくつかの具体例を紹介します。

低学年

国語の音読、教科書の視写、言葉集め、計算練習、算数問題づくり、日記、動植物観察、読書、お手伝い作文など

高学年

ことわざ・四字熟語調べ、視写、漢字練習、作文、都道府県まとめ、ニュースや新聞の感想文、計算練習、教科書問題の復習、予習、教科書の要約、栄養についての学習、問題集を使った学習、読書、これまでの学年の復習

中学年

漢字練習、漢字を使った文作り、視写、意味調べ、対義語・類義語調べ、地図記号調べ、教科書の要約、計算練習、100マス計算、問題づくり、読書、動植物観察、図鑑で調べる、ニュースや新聞の感想作文

よりよい学習習慣は、学力の要素である「学習意欲」や「ねばり強く課題に取り組む力」を支える基盤となります。家庭での学習を大切に行うことで、学びが継続し学習内容が確実に定着することにつながります。

ご家庭でも言葉がけや落ち着いて学習に取り組める

環境を整えてくださいますようお願いいたします。



1年生に新しい机を導入

～森と緑の県民税を活用～



森と緑の県民税を活用した机が設置されました。

三重県において平成26年4月1日から導入された、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるための「みえ森と緑の県民税」を活用し、令和7年度の新1年生29人のために机が設置されました。

来年度以降も、順次、新1年生には、みえ森と緑の県民税が活用された机が購入され、町内の各小学校に設置される予定です。

様々なご意見を伺えた学校説明会

18日（金）4限目に学校説明会を開催しました。

学校説明会は、校長が保護者の皆様に直接、学校経営方針や現在、学校に求められていることなどについて話し、保護者の皆様のご意見やご要望を伺ったりご質問に答えたりする会です。

会では「自分のことが好きだ」と学校満足度調査（児童対象）で80%以上の回答を目標とすること

や、家庭読書の時間を確保してほしいことなどを提案しました。また、昨年度までは12月に行っていた学校満足度調査（保護者対象、児童対象）を10月に実施し、その後の教育活動に調査結果を生かしていくこともお伝えしました。また不登校など心配なことがあればケース会議を開いて学校も含めみんなで取り組んでいくこと、教職員の働き方改革などについても説明しました。

参加された保護者の皆さんからは、「SOCS活動の様子をより多くの保護者の皆さんに参観してもらうよう、直前ではなく早いうちに計画を知らせてほしい。」「昨年度認知された12件のいじめとはどんな内容だったのか。解決まで長引いているものもあるのか。」「昨年度「ランドセルが重たいから対応してほしい」とする児童の声に対してどんな対応をとったのか。」「学年懇談会は開催されないのか。」など様々なご質問やご意見が出されました。

今回初めて開催した学校説明会は、保護者の皆さんから直接ご意見をお聞きすることができ、貴重な機会になりました。保護者の皆さんから伺った意見を参考にしながら教育活動を進めていきます。今後とも本校教育活動に対して、ご理解とご協力をお願いいたします。

